いわき民報
平市田町四八番地電話三八一番
發行人編集人印刷人　千輝克巳
日刊　但月曜を除く
定價一月二十円一部七十錢
發行所　いわき民報社

全市を堂々デモ行進

四倉、湯本、内郷も平に參加

あすはメーデー

あすは働くものゝ聖典メーデーだ平地區勞組會議斗爭委員會は三十日午前十時から全廳會議室に開き、行事に就き協議した結果、内郷、ゆ本、四ッ倉地區方部は平地區に參集する事に決定、同日午前十時まで平高等工業學校に集合、勞働者代表大會をひらき、決議文を作成終つて左の道順により示威行進を行い、途中平市役所、勞働基準監督署地方事務所税務署等に大會の決議文を手交する、デモ行進後磐女に各職場プラスバンドに依る音樂コンクールは實施しない事に決定した

各地區でも

植田地區＝植田第一中學校々庭に吳羽化學工業勞組、大日本勿來炭礦勞組ら午前十時まで參集、午後デモ行進を行う

小名濱地區＝小名濱臨港鐵道勞組外十二組合團體がえき前廣場に午前九時半まで參集勞働者大會をひらき午後町内の示威行進を行う

緑化週間と平市の植樹

荒れた國土を平和な緑でと一日から始まる緑化週間に市ではさくら二十九本を松ヶ岡公園にけやき百三十五本、いちよう九本を市内各學校にそれ〴〵苗木の植樹をする、なほ平營林署でも坊主山撲滅を期すべく苗木の入手に係員が出縣した

畜産組合二一

石城郡畜産組合は二十九日午前十時から市ゆ殿山に開き、二十三年度豫算の件二十二年度決算報告等を行つた

公益質屋廢止　五月いつぱい限りで

市會定例

市の定例市會は既報の如く前日に引續いて二十八日午前十時から開き千五十一萬五千二百三十二圓の二十三年度追加更正豫算案を始め最近利用價値のすくなくなつた公益質屋をその必要性を認める時期まで五月一杯で廢止する件外各條例の改正、設定など原案通り可決した

主なる條例改正　ミシン附加税も新に設定す

今度の定例市會で決定した條例の改正並に設定のうち主なものは次の通り

□牛馬税を家畜税に改めミシン税附加税を設ける　電柱類の占用料を一本につき年額五十圓以内とする

□市有地使用料を設け宅地（何れも坪當）月二圓以内、公園内月一圓以内、原野反當年五十圓以内とする

縣廳移轉も要望

郡下の町村議大會

郡下町村會議々員大會は三十日午前十時から平第三小學校に開き、縣廳の郡山市移轉問題、縣立公園設置、石城國道促進、新制中學校建築費補助と起債額要望、自治警察しよ廳舍設備の金額國庫負擔につき食糧、割增産等々に就き協議縣政に要望することになつた

川前地方古墳調査

後藤守一教授によつて

川前村の先史遺蹟については昨年來慶大考古學教室の清水潤三、江坂輝彌兩氏により再三實地調査が遂げられたが、この報告に基いて明大教授で考古學の權威後藤守一氏は一日來村、根本忠孝氏宅に宿泊、二日は川前中學校で磐城史談會員等に對して講演、三日は根本氏の案内で全村及び田村郡夏井村の古墳調査を行い四日歸京することに決定したこれがため内郷町に於ける郷土研究同志會の古墳發掘指導は六月に延期されることになつた

眞空管と部品の卸
上原時計店
平驛降テ左五軒目　電22

公開迫る
待望の巨篇　總天然色映畫
石の花
五月五日封切　只今前賣中
内郷　第二イワキ

東横製紙全燒

損害二百萬圓突破

三十日午前零時五十分ころ市内正月町六六東横製紙株式會社（責任者望月金作技師）パルプ原料倉庫から發火、工場九むね百四十五坪社宅一むね二四、五坪を全燒し同二時鎭火した、損害は建物及び五千貫の紙原料、製品、乾燥器、ボイラーの機械類等二百萬圓を突破するが死傷者はなかつた、原因は調査中であるが原料倉庫の天井に老朽した電線が通つており乾燥した原料を高積みしておつたため電線と接觸して發火か、工員のタバコの吸殻らしい、罹災人員は望月金作（四六）さん一家七人だけである

醫藥用、化學用其他硝子製品一式
新星硝子工業株式會社
平市佃町　電七一四番

街頭ヤミ取締りで

平自治警察署の三月十八日から四月二十七日までの約一ヶ月間にわたる街頭取締りの結果が此の程まとまつた野菜三件六八貫二百匁、鮮魚三件一一貫六百匁、馬れい薯件九八貫、木炭件百八俵是等の物資は各種配給機關を通じ學校給食一般家庭に配給された

更生障子紙各官公署に

市では各官公署へ補習用として更正加工の障子紙を一日割當て通知する

首犯管野捕わる

上遠野四人組强盗

上遠野村大字上遠野町字本町吳服商小澤光治（六）さん方へ二十七日夜十一時半ごろ押入つた四人組强盗中三名は既報の如く二十八日朝四時ごろ泉えき待合室でたい捕されたが、殘り一名の首犯錦町大字馬場無職管野春夫（二四）は同朝四時ごろ植田町南西部の鮫川橋上で警官の威かく射撃をうけたが河中に飛込み一度は逃れたが同日午後自宅附近に現れたところを植田しよに捕わる

即金　（電96）
衣類一般御買受
期限附御買戻しに應じます
平銀座ヨコ紅小路　大崎屋

刑務所破り即日捕わる

伊達郡生れ住所不定無職清水三郎（一八）は窃盗容疑中二十九日午前四時監房の差入口を破つて脱走したが、二十九日午前八時ごろ赤井村赤井日曹炭礦倉庫に隱れているのを赤井駐在鈴木しよ員にたい捕された

いわき寸言

◎緑化週間、人間も蒼白としてしまはないように

◎青少年の善導、眞心の温い手だけが必要、理論は論外です

◎今度は農家も遂に税金で泣きましたナ涙で浄化せよ？

創刊三周年

野澤武藏

本紙は五月一日を以て創刊三周年を迎えました。終戰直後の昭和二十一年一月旬刊紙「いわき民報」を發刊、次いで同年五月一日から日刊紙に改めて今日に至りましたが、當時印刷施設を他に依存していた爲、内面的にも外面的にも尠からず支障を來し、地方民の要望に應へて同年十一月資本金十九万円全額拂込みの株式會社に組織を變更、爾來鋭意社屋の追設と印刷設備を急ぎ、百七十坪の社屋と第一段階の印刷施設を完了することが出來ました。これひとへに郷土新聞に對する購讀者各位と地方民の深い御理解に因る御後援の賜でありまして、株主並に社員一同代表し、紙上を借りて深甚なる謝意を表します

本紙は三周年を迎へて更に飛躍的發展を目ざし、今回資本金五十萬円に增資することに決定、印刷業界に貢與する一方「郷土石城」における文化方面の重要機關として公正なる輿論の醸成と報導の任務を遂行することを固く誓うものであります。

三周年記念事業として文化祭、記念出版、記念講演スポーツ、雄辯大會、繪畫展、寫眞展兒童畫展其の他各種催しを計畫中でありますが、第一期建設事業も本年を以て一應完了する豫定になつて居りますからこれ等文化的事業を恒久的ならしむる考えであります。希くば江湖の御指導と御協賛を賜るよう切にお願ひ申上げます

出火御詫廣告

當株式會社平工場の火災については皆樣に多大の御迷惑をお掛け致し誠に申譯け御座いません、深く御わび申上げます、早速御馳付け御見舞下さいまして厚く感謝致します、取敢えず紙上にて御禮旁々おわび申上げます

株式會社　東横製紙平工場　平市正月町六六

近火御見舞御禮

東横製紙工場の火災の際は早速御馳付け御見舞下され厚く御禮申上げます

國際電球株式會社　平市新川町（電三一八）

近火御見舞御禮

商工省指定再製タイヤー工場
合資會社　千葉タイヤー商會
代表者　千葉計二　電話七八番

近火御見舞御禮

常磐ヤンマー製作所　平市新川町三六
佐藤成忠　平市正月町

近火御見舞御禮

平青果物荷受組合事務所
國井一美
職員一同
平市新川町電六九六

近火御見御禮

平市新川町六
松崎硝子製作所
松崎菊三郎

近火御見舞御禮

平市正月町一九番地
渡邊政敏
常磐木工製業所（電一八三）
大塚靴と運動の店　假營業所（電七七）
作田木工場／作田文平
大内吉太郎
鈴木きみ
鈴木清美
菅波與三郎
渡邊四郎
渡邊五郎
鶴山菊次郎
諸橋安彦
遠藤正勝
志賀金平

近火御見舞御禮

平市新川町
谷屋吳服店
鹽屋疊店
鈴木綿蒲團店
板金塗裝　田中宣治
丸惠造花店
伊勢屋雜貨店
白寶堂　白土時計店

平市新川町（順序不同）
山下孝一
山下庄三郎
藁谷武
野澤欽一郎
園部義雄
長榮重
伊藤胖
松崎長三郎
三浦和雄
赤松貞雄
鈴木傳二郎
伊藤退之助
野本龜吉
五十嵐雄二
三森己代松
上野サタ
新家芳美
加藤一衛
國井一美
小木彦治
遠藤友二郎
半澤義吉

謝近火御見舞

平市正内町
丹野平
廣木豐
折笠福太郎
風間福榮
太田キン
丸山仁三郎
井出巖

急募

女子從業員　若干名

年令二十才まで成るべく通勤可能の市内在住の方、履歴書持參委細面談

國際電球株式會社　平市新川町

貸室下宿緊急求

當局局員の宿舍として市内外又は近郊の數十名分の貸家、貸室、下宿等を急募す
條件、間取、賃貸料等を左記へ御連絡下さい
平市長橋町　平石炭局庶務課

戰災浮浪兒の善導は

補導週間に當り各方面に聽く

戰災が生んだ浮浪兒はいま全國的な問題として取上げられているが平市内にも靴磨を稼業に驛待合室などを宿として六人居る彼等は何れも十七才から十一才までの少年で好間一、勿來一、平三、仙台一人の割合で地方の者が多い靴磨によつて日收一人二百圓多いときで五百圓も稼ぐときもありその殆んどが中華料理店などで浪費して仕舞つておりボロの服裝も汚れた身體も一向氣にもとめずただ「あすはあすの風が吹く」と云つた放らつた生活へ入つている、この一日から實施する青少年補導週間に當つて彼等をどうしたら善導出來るか各方面の意見をまとめて見よう」

社會の責任だ

教師の情熱も欲しい

この浮浪者を良く面倒見て彼等からも親しまれている田町中央通り飲食店みやこ主人三井梅子さんは語る

此の子供たちには弱りました、初めて眞人間にしてあげようと自動車の助手にしたりセメント瓦工場へ世話しましたが一、二日働いたのみでもう駄目です、考えれば可哀想だし結局本人たちの希望もあつたので靴磨きが良いと思つて道具も一式揃えてあげました　仲間喧かはあるしえき待合室で乘客に不快な感じを與えるし困つた存在です、然し放つて置いては他家の迷惑になると思つて出來得るだけの面倒を見てあげた譯です、此の浮浪兒の中には市内第一小學校に籍のあるものもあり、結局誰が惡いと云うのでなく社會全体が彼等をこうさせた譯でしようが然しかつては彼等を敎えた先生も市内にいるはずです、して見れば敎育者として此の匡正に一應私たちと協力して呉れる位の情熱を示して呉れる先生がおつても良いと思います學校側も此の點良く反省すべきだしとうした子供たちの心理を良く捉えて善導するよう心掛けて貰いたいものです

仲間の絶縁が大切

家庭も反省を

浮浪兒の一人渡邊某を小學校五年のとき半年間受持つたことのある平市第一小學校敎官橋本武夫氏は語る

あの子供の同級生は今新制中學一年生ですがなぜあゝした群の中に入つて行つたか冷靜に考えて見たい、その直接の動機は　昨年秋だつたと思う、城山を中心に野荒が横行しそれが小學生だと云う投書がたま〱澤山あつた、彼が普段の盗癖を發揮して荒していたことが判つた、カバンの中には辨當を持たず生イモが詰込んでおるし一應の説得を試みて見ると案の定むくれ出したのであつたそれからは一層不眞面目となり放つて置けないので放課後彼を尋ねて幾回街を歩き家庭訪問したことかその父親は一向に關心を持たず「あの伜には見切りをつけた」とはつきり斷言して平氣顏だしそのうち神谷村へ轉居したので彼の籍も同時に轉校となつた、聞くところに依ればあの仲間の頭が彼等を脅迫して子分關係にしているとか、何れにしても父子共に良く話してあるはずだし彼の家庭にも一應反省すべき點があると思う、落付けないところの家庭であつたらしいし更に父子關係も復雜なものがあつたらしい、彼を善導するにはあの仲間と縁を切らせることが第一だと思う

篤志家の暖い手を

民生委員井上貞次郎氏は語る

浮浪兒の問題は全國の問題でありまた此の解決に日夜心を痛めている一人であるが全く困つたものだ、青少年補導委員會の席上でも論議されたが解決點は見出せなかつた、私は篤志家が此の少年たち一人々々を引取つて呉れて暖かい氣持で善導して行くならうまく行くのではないかと考えている、地方に收容所を作つてただ收容してしまうのでは余り責任がなさすぎるような氣もする

科學的な匡正必要

醫師大森勇氏は語る

醫者の立場から見れば彼等は精神に異狀なく性格的に異狀がある、こうしたものは一應感化院に送つて科學的に匡正すべきだ、そのためには設備費が掛るだろうがこれも仕方ないと思う

精神科　内科　新田目（アラタメ）醫院　平市揺組小路　電15

縣に相談の上考慮を

市社會課山野邊達卓氏は語る

放任して置けない事ながらまた難かしい問題だ、今度兒童福祉法が實施になるのでそのうち具體的に縣とも相談して對處したい、また青少年補導週間中は種々こうした問題についての論議されると思うから多くの智慧を拜借してこれが善導に進みたいと思う

縁故關係の分類が必要

石城地方事務所篠山廳氏は語る

現在のまゝで放つて置いては救れない、浮浪兒の中には親も家もあり好んでああした群に入つているものと實際取扱上これを分類して縁古者のあるものに引取らせ無縁古には宗敎家のような處へお願するより外ないと思う、このためには市が骨折るべきだと考える

四月中の收穫

列車小荷物車臨檢

平自治警察署では郡下各方部の自治、駐在署員の協力を求め、四月一日から五回にわたり列車、小荷車の臨檢を實施したが、押收された物資は左の通りで、主食類大量をしめている、これ等買出しの大部分は主食配給の不足からやむにやまれず持込むもの〻高賣を目的にしているものは約二割見當、臨檢にぶつかれば、升十圓四十五錢で買上げられるが、一升四合までは無難とされている、實際署員はその時その人に依り知情意の總合判斷から決定するからなか〱容易ではない、買出し先は主に東北〻線小牛田瀬峰方面から安くて一升七、八十圓で買出して來る、この頃は色々な技巧を凝らして係官をくらまそうとする極端な態度は少くなつて來た樣だ

『有主物』粳精米(七四九件)三、八二四、七キロ糯米(三件)九十キロ麥類(一十)八四、五キロ大豆(九九)五五六五キロ馬鈴薯(四四)二四九、一貫甘藷(八)二一、四貫鮮魚(一五)三四貫澱粉(四)三一キログリンピース(一)八キロにその他(十八)七九、五キロ葉煙草(三)一、二貫

『無主物』粳精米(一〇七)九一七、二キロ糯米(六)四四、五キロ大豆(十一)五七キロ小豆(一〇)二七、五キロ麥類(一)二五キロ馬鈴薯(一)〇九貫甘藷(三)七、二貫鮮魚(六)二六、七貫葉煙草(一)一、七貫その他三九五キロ

セトモノ大安賣
各種高級品澤山アリ
大量注文ニ應ジマス
平市三町目
川徳セトモノ販賣部

恐喝二人男

東京都生れ住所不定無職前科犯石原昭男(二〇)郡山市生れ同上前科一犯島津正義(二六)の兩名は去年11月ごろ磐崎村常磐炭鑛長倉坑の二寮から衣類十點を盗んだほか寮生を恐喝一萬圓をかせいだ、なお石原は兄の武正(三四)と共謀茨城縣高萩町で破藏衣類二十二點外一千圓の恐喝をしたが二十八日平地區署員に捕はる

ふとん盗まる

市内古鍛冶町二九染色業折笠茂久(五二)さん方では二十九日午後八時から十一時頃までにかけふとん一枚毛布一枚時價二千圓相當をぬすまれた

衛生管理者試驗合格者

福島勞働基準局主催による安全衛生規程第一回衛生管理者試驗は去る三月十六日から二日間磐中に催されたが、の程その結果が發表された合格者左の通り

草苅長一郎　壁谷保　野坂道雄　佐藤武士　小野勝三　菅野榮治　郎　村松信夫　瓶　直次　志賀麒　郎、七尾養次郎　遠田規

積算電力計豫約致シマス
電力・電燈メートル
近日多量入荷
御一報次第參上御相談に應じます
電燈・電力工事請負
藤浪電機工業所
平市白銀町電882番

『母親夫婦兩學級は どんな勉强したか』

民主主義下に再出發した吾々の新しい生活には新憲法やれ男女同權だ、文化生活だと幾多の學ぶべき點がある、こうした民主化の動きに備えて成人敎育が活潑に行はれて來たがその現はれとして市の夫婦學級と母親學校があり特に夫婦學級は短かい期間では徹底しないと云う見地からもう一學期延期しようと申合せたし更に昨年母親學校を卒業した人達のために研究科が作られようとしその熱意のほどを示している　では兩敎室はどんな事を勉强したかその實際を見よう

夫婦學級

もう一學期延長

揃つて勉强四回

去る六日入學式を行つた夫婦學級は定員十六組毎週火曜日を出席日とし敎室は公會堂日本間級長に飯野貫枝子、書記に草野升郎、會計國井一美の諸氏が當つている　二七日の卒業まで前後四回の授業があつた　夫婦お揃いで勉强した課目は△市政に就いて(鈴木市長)△民法(眞木市議)△家庭醫學(諸橋醫師)△アメリカの家庭事情に就いて(鈴木傳明氏)

これだけの短期間では物足らぬから五月一杯更に學期を延長することに申合せ一方夫婦生徒をもつと殖すために現在の生徒が推薦したもの　各學校がPTAから選んで呉れたもの現生徒の授業延期を希望するものを加えてこの企てを强化しようとしている

母親學校

卒業生には研究科

文部省指定で婦人敎養學級

平第四小學校の母親學校は五日入學並に始業式を行ひ、鈴木光四郎氏の澤村勝爲公の話と〻ワを聽く會を開く、昨年は六十三名の生徒で二回の學級を開いたうち主なものは△新憲法の活△家庭敎育△新敎育△家庭榮養△傳染病防法△文化問題△育兒法と婦人衛生△米國婦人の生活▼見學(郡山市と市内)

内容も割合充實しており今年になつて文部省指定婦人敎養學級としても指定されている、人員は募集中だが大体年同樣と見ている、また今春の卒業生に對しても研究科を設けて母親としての敎養を更に高めようと計畫中である、河原第四小學校長が同學校の校長を努めている

雄、河原田穰　青木　宏晏　市毛徳三　鳴　原良次　山野昌孝　山野邊フミ　一志賀篤　根ゝ塚　草野敏　吉　田勇　青柳美江子　本多晴之　松井哲　石川武　五十嵐正勝　山本文　岡田昌司　鈴木仁子　紺斗武正　得田米太郎　井上益　雄　山野邊武　植村　力夫　山城貞雄　渡　還操　飯塚さと子　西山四郎　渡邊忠衛　林武義　小林良次　大部ユキヱ　豊田佐　市　根本元二　戸村　龍夫　小川榮　士尾　篤　小泉信彥　馬目　經光　萩野三四夫　富永健哉　大竹キミ　倉橋　三　石田芳雄　太田茂一　村田經太　郎　別府史章　永見　杉雄　志賀忠徳　高　木武志　菅波一作　大和田常吉　古市盈　永　佐久間光雄　西　村明　小川忠良　下　山田耕作　佐藤久右　工門　水谷定男　大　平榮　大和田通隆　新妻義孝　三本松貞　子　森功　市川芳美　本山律　貝瀬美雄　小川英明　杉岡軍信　行徳利惠ト　鈴木忠　信　遠藤公

賣工場（石城郡好間村）
事務所　九坪
長屋　二十八坪
工場　百四八坪
電力設備あり（十馬力）
丸平鑛業所
平市田町六八（電十四）

季節の流行帽子と
有名化粧品の店
××× ×× ×××
夢の香印象的な匂い……
聲價愈々高き香水界の
名品を各種陳列しました
エンド
平二（電一〇二八）

新築開店豫告
移轉先　平市田町三田小路　平十地住宅會社隣
平驛前復興道路三十米大通り角店（來年度開通の豫定）
弊店儀永らく御不便をかけ申譯なく存じます近日新築落成移轉開業、古き体驗と專門的技術を生かす心組故何卒倍舊の御引立と御信用を預り度此段謹告申上げます
開店御披露までは假營業所へ
平市正月町（平第三小學校前）
磐城スポーツ連盟指定
配給品取扱店
大塚靴と運動具店
假營業所
電話七十七番

カメラ
高價買入
平市三丁目本通
タナカ

中古衣類破格販賣
お求の際は是非一度
御相談下さい
販賣品目
御婚禮江戸褄
モーニング
高級衣裳
その他
◇春柄若向豐富◇
中古衣類問屋
中央會館
平市南町（小劇隣り）電九一五番

縣賞募集當選
幼稚園名稱
一等　たかつき（賞金五百圓）　平市南町六五　中島紀子さん
二等　白鳩（賞金三百圓）　平市二丁目　山崎德太郎氏
三等　やはた（賞金一百圓）　平市杉平一　増田忠氏
かねて募集中の當奉賛會の社會事業幼稚園名稱は應募者五百に達し審査の結果左の通り決定致しました、尚同名の應募が多數ありましたので抽籤で決めました
平市八幡小路六
飯野八幡神社奉賛會